



## 海岸のゴミについて考える



早い梅雨明けにもかかわらず、梅雨が戻ってきたように雨の日が続く今日この頃  
黒部市の海岸を散策したレポートをお伝えしたいと思います。



今まで海岸に足を踏み入れることがなく、遊歩道から眺めているだけだったので、草木の漂流物があることは認識していたのですが、「ゴミは少なく意外にキレイだなあ」と思っていました。



でも、実際に海岸に足を踏み入ると、至る所というわけではないですが、ご多分に漏れず PET ボトルや空き缶が点在している状況でした。(左の写真は荒俣海岸)



また、違う海岸(石田浜海水浴場)では、BBQ後に放置されたと思われるゴミや直火の後などマナーが疑われるものもありました。



富山県内の海岸漂着物は、富山湾が日本海からのゴミが流れつきにくい形をしているため、他県の状況と異なり約 8 割のゴミは県内で発生し、河川等を通じて海に流出したものと考えられています。

今回、改めて●海や川にゴミを残さない・捨てない。●地域の清掃イベント、ボランティア活動に参加する。など考えさせられました。海岸に行く時は、ゴミ袋を持って行き、少しでもゴミ拾いをするようにしたいと思います。皆さんも身近な所を観察してみては如何でしょうか。

